

みずほCustomer Desk Report 2019/09/18 号(As of 2019/09/17)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	108.22
TKY 9:00AM	108.15	1.1003	118.97	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	108.37	1.1075	119.76	1.2428	0.6862
SYD-NY Low	108.03	1.0990	118.90	1.2528	0.6870
NY 5:00 PM	108.11	1.1072	119.73	1.2393	0.6831
				1.2497	0.6866
NY DOW	27,110.80	33.98	日本2年債	-0.2500	0.00bp
NASDAQ	8,186.02	32.47	日本10年債	-0.1500	1.00bp
S&P	3,005.70	7.74	米国2年債	1.7300	▲2.63bp
日経平均	22,001.32	13.03	米国5年債	1.6634	▲3.32bp
TOPIX	1,614.58	4.71	米国10年債	1.8092	▲3.32bp
シカゴ日経先物	21,890	100	独10年債	-0.4755	0.75bp
ロンドンFT	7,320.40	▲1.01	英10年債	0.6930	0.40bp
DAX	12,372.61	▲7.70	豪10年債	1.1250	▲5.80bp
ハンセン指数	26,790.24	▲334.31	USDJPY 1M Vol	6.55	▲0.03%
上海総合	2,978.12	▲52.64	USDJPY 3M Vol	6.63	0.03%
NY金	1,513.40	1.90	USDJPY 6M Vol	6.60	▲0.03%
WTI	59.34	▲3.56	USDJPY 1M 25RR	-1.40	Yen Call Over
CRB指数	178.79	▲4.37	EURJPY 3M Vol	6.88	0.02%
ドルインデックス	98.26	▲0.35	EURJPY 6M Vol	7.08	0.06%

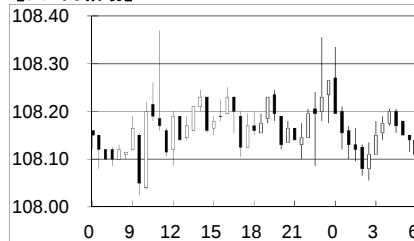
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
9月17日	18:00	独 ZEW調査(現状/期待)	9月 -19.9/-22.5	-15.0/-38.0
	22:15	米 鉱工業生産(前月比)	8月 0.6%	0.2%
	22:15	米 設備稼働率	8月 77.9%	77.6%

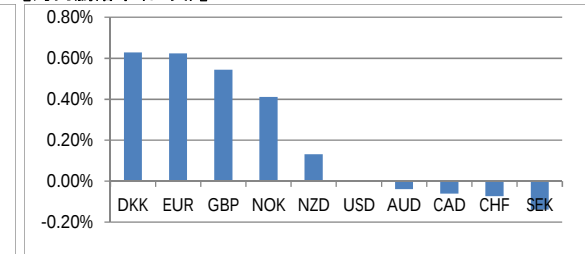
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
9月18日	17:30	英 CPI(前月比/前年比)	8月 0.5%/1.9%	0.0%/2.1%
	21:30	米 住宅着工件数/建設許可件数	8月 1,250K/1,300K	1,191K/1,317K
9月19日	3:00	米 FOMC 政策金利	- 1.75-2.0%	2.0-2.25%
	3:30	米 パウエルFRB議長 記者会見	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	107.80-108.80	1.1020-1.1120	119.00-120.20

【マーケットインプレッション】

昨日のドル/円は108.00円前半で横ばいに推移。アジア時間、仲値にかけてドル買いが強まり、日経平均の反発もあって一時108.37円まで上昇。一方でFOMCの結果を控えて市場は様子見ムードが強まっており、NY時間に発表された米8月鉱工業生産が市場予想を上回る結果となったもののドル/円の反応は限定的だった。本日もFOMC前は動意薄であろう。注目はFOMCの政策金利だが、市場はほぼ25bpsの利下げを織り込んでいる状況ではあるが、警戒すべきはパウエルFRB議長の記者会見で、FOMCの今後の方針が見定められよう。前日にはNY連銀が10年ぶりの翌日物システムレボを実施しており、足元では金利上昇圧力が強まっている。

東京	東京時間のドル円は、108.15レベルでオープン。日経平均株価の安寄りを眺め108.03まで下落するも、仲値にかけてドル買いが強まると日経平均株価の切り返しと共に一時108.37まで上昇。その後は伸び悩み、108.19レベルで海外時間へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、108.19レベルでオープン。明日にFOMC結果を控える中、特に材料が出なかったこともあり、108.11-25円の狭いレンジで推移し108.13レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2411レベルでオープン。昨日のジョンソン首相のルクセンブルグ訪問で特にEUとの交渉に成果が報じられず、本日のポンドの上値は重かった。またジョンソン首相の議会閉鎖の是非を英最高裁が審理開始したとのヘッドラインが流れる辺りで売りが入り1.24台を割り1.2393まで下落した場面もあったが結局1.2418レベルでNYに渡った。(ロンドン・フリー 00531 444 179 神田)
ニューヨーク	日本の連休明けで仲値に掛けてドル買いが強まり、海外市場で108.37まで上昇したドル円は、その後はFOMC結果発表を明日に控え、狭いレンジでの推移が続き、108.13レベルでNYオープン。朝方は、米8月鉱工業生産が予想を上回ったものの、昨日米企業の四半期に1度のコーポレート・タックスの支払期限日であったことや、サウジの石油施設攻撃を受け、原油先物市場の必須の証拠金積み上げが上昇し、先週のまとまった社債の発行も手伝い、昨日からレボ金利が上昇しており、これを受けNY連銀が10年以上ぶりにレボ市場で750億ドルまで供給することを発表し、一旦ドルの逼迫懸念が後退し、ドル売りが強まり反落する。しかし技術的な問題で中止とのヘッドラインが強まると再びドル買いが優勢となり、108.35まで急伸する。その後はNY連銀がレボで532億ドルを供給したことを発表すると、思ったほど市場は逼迫していないとの見方からドル売りが強まり、108.18まで下押しする。その後再び米金利が上昇する局面で108.33まで戻したが、ドル売りが優勢となり、午後は明日のFOMC結果発表を控え狭いレンジでの推移が続き、108.11レベルでクロスした。一方、海外市場のユーロドルは、1.0990～1.1027でのレンジでの推移が続き、1.1024レベルでNYオープン。朝方は狭いレンジでの推移が続くが、NY連銀のレボ結果を受け、朝方買われていたドルが売られる展開に、ユーロドルは1.1075まで上昇し、1.1072レベルでクロスした。(NY井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:小笠原・原田